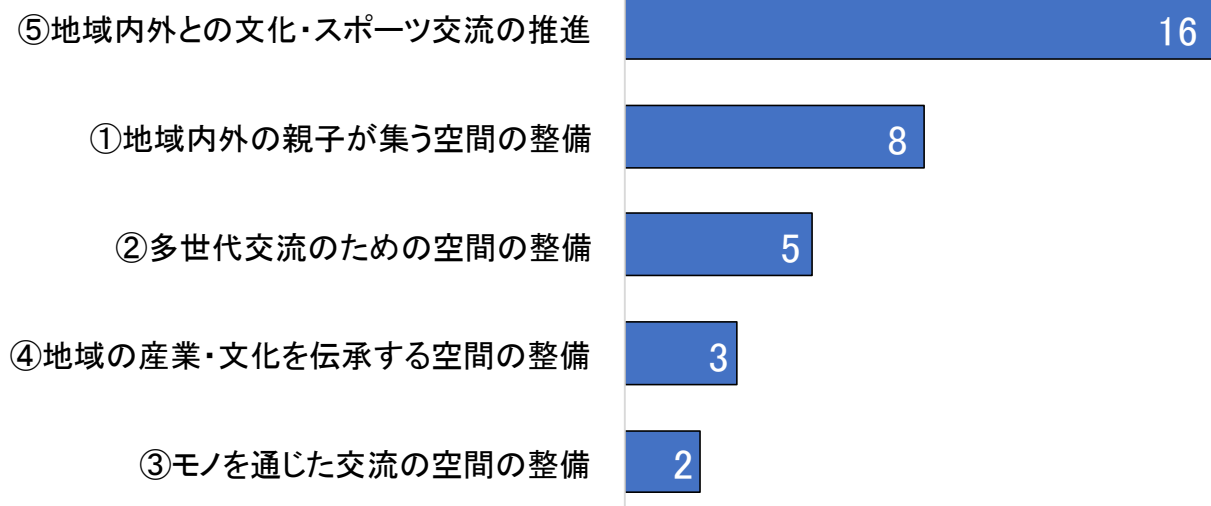


鴨川市 第 5 回 100 人会議 記入シートまとめ

1. あなたが最も優先させるべきだと考える事項



【各項目選択の理由】

⑤地域内外との文化・スポーツ交流の促進

- 体育館、スポーツ館などの施設が整っているから。グラウンドもそれなりの広さがある。
- 合宿所・体育館を使えるので。駐車場の確保と日蓮上人の案内を入れて欲しい。
- 学校の跡地である。体育館、グラウンド、プールがあり、学ぶ場所なので文化的である。
- ビジネスで考えたら、成功する可能性が一番あるのでは。
- 地元の住民も観光等で他所から来る人も活用できる。
- 町内・町外のスポーツ好きな人が集まれるような場所。
- スポーツジム、健康・交流、体づくりの拠点。小湊とは、漁業の町であり、門前町である。多世代に渡る交流ができるのは文化とスポーツ。
- ①～③は結果的にもたすことができる。④も重要だが、小学校跡地という性格を考えると、⑤が最も適していると思う。スポーツ・文化は、価値観が多様化している現代において無形のものに価値を求めるものであり、将来をつくっていく上で重要な要素だと思う。施設の的にもスポーツ・文化に適している。
- 他にない施設づくり。スポーツ合宿所。マイナースポーツの施設。若い人が利用する施設。
- 他地域にはない施設にして、文化・スポーツ他、交流の場としてここにしかないものをアピールしていければと思う。
- 何か新しいことを始めて、人の流れ、地域を活性化させる。
- 福祉につながりやすい。
- 既存の設備をできる限りそのまま使用したい。
- 日蓮上人の誕生の海の中の模様がわかったらすごい。世の中に発信することで、きっときっと、小湊に人が大勢来ると思う。それがまず第一だと思う。

①地域内外の親子が集う空間の整備

- 小中学校の施設を一番生かせるので。ただし、小学校と中学校を分けるのではなく、小中を一つとして活用すべきだと思う。
- 千葉県最大級の室内遊び場で、多くの親子をシーワールド経由で集める。そして、収益の要とする。その流れで、屋外のニッチなスポーツ施設で親子が楽しめるものを提供して、利益を上げる。
- 子育て世代として、土日などに出かけることのメインは子どもであり、子どもを遊ばせられる施設があったらありがたい。また、鴨川シーワールドに来るのは主に子どもなので、雨の日や宿泊した次の日などに立ち寄ってもらえれば、飲食や土産物の需要もあるのではないか。
- ①を支援するために、②～⑤が必要になるのではないかと。未来を担う子どもたちの出入りは、小湊地域の課題からしてとても重要である。
- 子どもがいるかいないかで、人が集まる・集まらないは変わる。人が集まるのは子どものいる町。子どもが生まれるところには人は集まる。
- 子どもが遊べる場、安心して預けられる場を充実させることで、少子化の対策につながると思う。
- 今後の鴨川市のためにも、親子が生活しやすくすることで、中だけではなく、外からの人口流入のきっかけにもなる。
- 地域が元気になるということを考えて、若い人や子どもの姿が見られるのが一番良いと思う。地域のお年寄りも元気になる。子育て世代の親への支援にもなる。高齢者がボランティアでお手伝いする。

②多世代交流のための空間の整備

- 環ができ、つながる環境が必要。消費もあり、交流もあることが良い。
- 地域の活性化を継続的に行っていくには、多世代と交流し、文化・民俗等を伝えることが大切だと考える。
- 情報の交流ができる。高齢者の若返りができるのでは。
- 地域に生きるのは、ある特定の世代だけではない。全ての世代が受益者になれることが望ましいと思う。

④地域の産業・文化を伝承する空間の整備

- 地域の活性化に基づき、①～③にも通じると思う。産業もあり、文化もあるので生かして欲しい。
- 歴史があって、地域性を売る。特別なこの地にあるこだわりを売って人を集める。

③モノを通じた交流の空間の整備

- 集客の手段として。
- 人が集まるように、モノ交流すること。それから、産業・観光もできるようになる。

2. さらに検討が必要な点

①コミュニティセンターなど、他の施設との関係について

<コミュニティセンターなどの機能や建物を統合、集約する>

- 統合すべき。
- 1つの場所に統合して良いのではないか。
- 近隣に類似した機能を持つ施設は必要性が低いと思うので、集約した方が良いと思う。
- 他施設は廃止。
- (小湊さとうみ学校に) コミュニティセンターを入れた方が良い。働いている人を活用できる。市役所の分所・事務所としても使う。
- 現状の市役所の出張所としての機能は、移設しても良いのではないか。
- 廃止。民間事業者へ譲渡(有償、無償)
- 入れられるのであれば、コスト削減になるので良いと思う。
- 類似ならコミセンは廃止。コストを考えると、建物はそのまま残すのでいいと思う。
- 実際に利用状況を確認して、整理・統合すべき。
- 不要となった施設は廃止としたい。が、現在の利用率の確認が必要。
- 現行の機能がわからない。「類似」していることは何か? 内容、使用頻度の振り返りを行って、整理していく。施設は、市全体又は地元の人々から新しい役割を要求されれば役立てていく。防災利用。
- 廃止して、小湊さとうみ学校に入れる。機能を移転する。コミュニティセンターは防災の拠点にする。
- 災害等が起きた場合に備え、施設的なものは残した方が良いのでは。
- 機能の整理整頓、統合は重要である。ただ、そこで空いた施設をどのように活用するのか、地域全体のデザインが必要となる。例えば、コミュニティセンターはアクセスの改善によっては駅に最も近い市の施設である。そのアクセス性の良さを生かし、小学校跡地を補完する施設として検討してはどうか。大会議室(ホール)があるので、eスポーツやアニメコンテンツ、文化ギャラリーの代替施設として活用しては。
- コミュニティセンターは廃止。何の機能として使用するのか。役所仕事と民間仕事の両者責任を持ってやれば、観光客も住民も来るようになる。
- コミセン(市役所の支所機能)も移したい。観光案内所も取り入れたい。既存場所から移してはどうか。鴨川市民ギャラリーも移設したらどうか。集客の相乗効果が期待される。商工会の支所も一緒になればどうか。
- 同じ目的の施設をつくるのは避けるべきだと思う。

<コミュニティセンターの機能や建物は現状のまま存続させる>

- 現状施設は廃止せず、新しい施設を増設した方が良い。
- (小湊さとうみ学校を) コミュニティセンターとはすみ分けをする。
- コミュニティセンターは廃止しないで欲しい。コミセンの機能はそのまま残して、また違ったものを跡地につくっていったら良いと思う。
- できれば、コミュニティセンターは残した方が良い。目的によって使い分ける。
- せっかくコミュニティセンターがあるので、廃止ではなく、敷地内のもは小湊さとうみ学校に関連する施設として使用した方が、効率が良いのではないか。利用できる限り(耐用年数)は、使った方が良い。地域の方が利用すれば良い。
- 施設利用者の意向を尊重すべきではないか。人数の多い少ないではなく、住民の活動が盛んになることが重要。
- 地元の会合等に従来どおり使用する。それ以外の機能は、小学校跡地で行う。

<その他>

- 幼稚園と保育園を統合し、できるだけ存続できれば良いが、集会場としても活用していければ良いのでは。
- 自由度をあげる(あまり区切り過ぎず、民間の希望を聞いて。)
- 行政の役割や支援内容を明確にする。

②駐車場について

<施設敷地内に駐車場が必要>

- 整備すべき。中学校の跡地で確保すべき。
- 近隣といっても、徒歩だとそれなりに大変なので、敷地内に必要だと思う。
- 旧中学校を除去するのは躊躇があるが、思い切り駐車場を整備することは大事ではないか。駐車場は設けるべき。20~30台分くらい必要では。
- 駐車場は緊急のために必要。マイクロバス2台、普通車8台の合計10台。
- たくさんの人が交流できるような場になれば良いと思うので、安全性を考えると、少し広めの駐車場が必要。また、小さな子どもを連れた親子が来るなら、施設の近くにあった方が良い（雨風対策）。
- できれば施設内にあるべき。駐車容量としては平日に使用して止められる台数20~30台くらい。ただし、既存の近隣駐車場は臨時で使用してできれば良いと思う。
- 人が集約することを目的とするなら、敷地内に駐車場は必要だと思う。夏休み等のピーク時とそうじゃない時の間くらい。平均くらい。50~60台とか！
- 駐車場を整備すべき。交通が不便なため。100台くらいは必要。
- 駐車場は施設内に必要だと思う。いっぱいになったら、無料駐車場に回せばよいと思う。
- 最低100台入れるように。
- 普通車20~30台。大型バス10~15台。
- 駅前の駐車場（小湊鐵道の所有地）も使用して、敷地内には限定数（10~15台）程度。
- 近隣駐車場は確保・活用して欲しい。活性化案③のように駐車場は必要。
- 現状駐車場を活用し、必要な駐車分を学校内につくる。グラウンドはグラウンドとして活用すべき。
- 既存の近隣駐車場は、普段から一般の車が半分くらいは使用している現状からも、小湊さとうみ学校内に駐車場の整備が必要だと思う。駐車容量は、できる施設にもよるのでは？

<駅前駐車場を活用>

- 小湊駅前にある小湊鐵道所有の駐車場を活用すべきである。新設するのはもったいない。
- グラウンドは多目的に使えるようにしておきたいが、駐車場から施設まではできるだけ近い方が良いと思う。歩くだけの小道を整備するとか。
- 川に橋を渡して、せめて歩道橋だけでも作れないか。
- 駅前駐車場を活用すべき。そして、歩道橋を新設する。若しくは、石渡病院の脇を渡って橋を渡って、アプローチしたい。そのためには、国道側に人が通れる歩道が欲しい。海とのアクセスにもなる。マリンスポーツを関係させるためにも、海と歩道でつなげたい。
- 近隣の小湊駅下の現状収容台数。
- 近隣駐車場を利用できればそれは良い。
- 観光客がメインなら、既存の駐車場でOK。

<その他>

- 駅南の駐車場は臨時で開放できれば良い。現時点では不明。コンテンツによる。
- 活性化案の①・②では、駐車場をどのように考えているのか？近くの駐車場といっても川をはさんでいる。
- 駐車場がないことが利用を敬遠する理由にならないといいが、既存のもので十分なのかどうか。
- とりあえず、コストを考えるとそのままなしで様子を見る。コストがかかるので、中学校を壊すのは反対。グラウンドをつぶすのは入場者が増えてから、後からできる。
- 活用方法が決定する前から、駐車場問題はいかなるものか。
- どのような施設にするのかによるのでは。
- 地元が困らない整備（安全第一が優先）。経済性より安全を優先して考えて欲しい。（整備のプロではないので、何がベストかはわからないが、優先順位1位は安全である。）

3-1. 跡地活用に当たって譲れないこと

- 市民がコンテンツを出して、実施できる場。人が来て、消費すること。
- まずは、地域に根差したものとして残して欲しい。産業・文化の伝承は、とても大事だと思うし、小湊と鴨川市が発展するようなものもよいが、やはり小湊は高齢化が進んでいるので、地域が元気になって欲しい。
- 地域住民のためになる役割・機能は入れて欲しい。地元の人たちが足しげく通う場であって欲しいと思う。
- 元気がでる、高齢者が働ける場所、職場を考えて欲しい。高齢者が日用品を買える場所。
- 千葉、鴨川、小湊の特性（歴史も考えて）を強く打ち出し、係わるスタッフは高齢者にも活躍の場を与える。
- ユニバーサルデザインの発信地。
- 健康長寿の町、コンセプトを明記して欲しい。将来的に、福祉厚生費の削減を目指す。コンセプトを決めることにより、それに対する条件（エステ、子どもとの高齢者交流、長寿の食事、説教を受ける等の検討項目が出てくるのではないかなと思う。
- 地域の方が気軽に立ち寄れるところ。子どもの遊び場。預けられる場。
- 子どもが遊べる室内施設と、併設した親が休憩等できる施設。
- すべり台の少し機能の良いものを外に作って欲しい。アスレチックのようなものでもあれば、子どものいる家庭は集まると思う。雨の日は室内で遊べたら助かる。
- 千葉県一の子どもの体験型の遊び場。スポーツセンターとして活用するのならば、小中学校を一つのものとして使うべき。
- スポーツ・文化は外せない要素だと思う。大きなコンセプト的にはやはり学びが重要だと思う。来れば、学び、成長、創造が生まれる場にしたい。スポーツ×文化×観光。機能 ① 学び（研修）、②食、③子育て、④インキュベーション。ユニバーサルデザイン。エコ、ガシファイアー（薪の利用）、自伐型林業。
- 何か新しいことを始めるべき。「日本初」の何か。eスポーツの合宿所や大会。ドローン大会。短期（1~3か月）のプログラムを学べる合宿。⇒卒業生がパソコンで仕事をしながら移住してくれる。
- 文化・スポーツの交流の場を作れば、自ずと多世代交流や食などもついてくると思うので、そのような場になると良いと思う。
- 観光につながるものにして欲しい。
- 安い宿泊料金で泊まれる施設（小湊小校舎）。合宿所的なもの。
- 日蓮上人を「偉人」として入れて欲しい。
- 日蓮上人の展示は1階ですること。
- 相撲場があった方が色々なイベントができる。日蓮上人のブースの利用は各寺院に良きリーダーの方がいるので、相談して欲しい。

3-2. その他自由記載

- 鴨川市として世間にアピールし、世間をリードするような積極的な構えで取り組む。
- プールを廃止にするよりも、釣り堀として活用できないか。鴨川に釣り堀はあるのか？海の魚が釣れればおもしろい。子ども達や観光客向け、レクチャーや釣りスクールも。金目鯛の養殖など。実験施設の可能性はないか？
- 近所の人に迷惑にならないように。
- 全体でモノを考えて。内浦と小湊では考え方が違うので注意。フラワーセンターは閉める。
- 小学生に利用法を聞いてみては？
- せっかく100人会議の実施目的の大きな目的として市民の意識改革（自分ごとに）した、市民参加意識を持つ人を増やすためにも、房総・鴨川全体を視野に入れた将来ビジョン、どんな街に住みたいかをもっと議論した後に、この具体的な小湊地域の活性化案を検討することが大事ではないか。
- 活性化するには、もっと具体的に少しずつやっていくようにする。役所と民間で話し合っで決める。役所も大きい気持ちで。
- 様々な属性の方の色々な意見をよくまとめてくれていると思う。他の分科会の方の「とがった意見」を聴いてみたい。
- 活性化案がまとまりすぎていように見え、分科会の内容がわかりにくい。

- 活性化案は抽象的で、具体的にどうなるのか、結論が出るのか心配。事務局案では、民間と行政で管理を行うようになっている。運営方法等、利用者目線で一体に見えるよう運営して欲しい。
- 個人的には、1に書いた流れで活性化案②でいいと思うが、一番大事なのは、内外で相反するコンセプトなので、利益を生まない行政がする部分をきちんと分けて、利益を生む部分をきちんと外部に管理させることが大事。この施設で利益を上げなければならない。
- 行政部分は小さくていい（ローコストで）。建物・エリアの分け方は再考が必要。
- 現状までの会議を終わって、ざっくりとした案のようになってしまっているのではないか。この状況で、次回の会議で結論が決められるのか不安な感じがする。ワクワク感が会議をするごとに薄れてしまっているのではないか。どのような施設ができようとも、地域住民・近隣住民ができてよかったと思う施設を作ってほしい。
- 検討会では、どのような進行になっているのか。